資料２

ASAHIKAWA CITY

令和７年７月29日
子育て支援部愛育センター

愛育センターの園庭整備について

1　園庭整備の経緯

昭和56年（1981年）開設以降、障がいのある児童と保護者の支援を身近な地域で受けられる施設として、多くの子どもたちを受け入れてきたが、園庭遊具の老朽化や破損等により、使用可能な遊具が減少しており、屋外での遊びを通じた適切な療育の提供ができていない現状にある。

また、利用者及び保護者等から新たな遊具の導入やインクルーシブな環境を求める声が増えてきている中、令和６年度の企業版ふるさと納税を活用し、本市の子育て支援に対し、（株）アイ工務店（本社：大阪市）より3,000万円の寄附があったことから、地域における公立の児童発達支援センターとして「地域社会におけるインクルージョンの推進」を図ることを目指し、遊具の更新等の整備を行うこととした。

2　整備の考え方（基本理念）

「周辺地域との調和を図りながら五感で季節を感じられることができ、遊びを通じた適切な療育環境の確保及び本市のインクルージョンの推進を図る」

・子どもたちが、共に遊び、共に成長する、賑わいのある園庭をつくる。
・利用者や保護者にとって、四季を感じられる花壇や樹木を楽しむことができ、心が安らげる居場所をつくる

3　整備内容

⑴ 遊具の更新

〇既存遊具の撤去
- 木製滑り台
- ブランコ
- 回転ジャングルジム
- 鉄棒

〇新たに設置する遊具
- ボックス型及び踏み板型を併置したブランコ
- 表面に芝を張った築山を造成し、滑り台を設置
- ターフによる屋根付き衛生対策砂場

⑵ 安全性に配慮された園庭の整備

外遊びを通じた療育の効果を最大限得ることができるよう、材質や形状などの安全性に配慮された園庭

4　整備期間

令和７年８月～令和８年４月末予定
※積雪の状況により変更あり

5　その他

朝日放送テレビ㈱（本社：大阪市）（企業版ふるさと納税寄附見込企業紹介者）が、園庭整備の実施に伴い、本市のインクルーシブを一層推進するため、番組を制作。
令和８年３月に番組が放送される予定。（全道放送）